

<膝の水>

患者様からよくある質問です。

『先生、膝に水がたまつとるみたいだけど、抜くとくせになつてしまふんですよね?』

そもそも膝に溜まる水とは何なののでしょうか?

→関節液と呼ばれるもので、関節を包んでいる膜（関節腔）

に入っており、骨の先端の軟骨に栄養を与えたり関節の

スムーズな動きのための潤滑油のような役割をされていて、

ヒアルロン酸が主成分となります。通常は健常者で約0.5

cc程と言われてますが、膝に異常をきたすと体が異常を

治そうとして過剰に分泌してしまい増えてしま います。

関節腔は栓をした水風船をイメージして下さい。中で水

が増えていけば、水風船はどんどん膨張してしまいます。

膝の異常とは?

→変形性膝関節症や使いすぎ（疲労）による炎症、関節リウ

マチ、半月板の損傷、化膿性関節炎など。

上記の様に抜いたからくせになる のではなく、異常があるうちは

抜いて減らしてもまた分泌される が正解です。よって膝の水に対

する治療としては膝の異常に対する治療となります。ただ疲労に

よる炎症以外は今日明日で完治するのは困難な場合が多いです。

あまりに腫れぼったくなり、膝の屈伸が困難な場合は抜いてしまっ

た方が楽になる場合が多いので、上記の膝の異常に心当たりが

ある方は一度近くの整形外科を受診する事をお勧め致します。